

## 平成21年度 高知県地球温暖化防止県民会議部会活動

### (1) 県民活動促進部会

#### ア 活動目標

高知県地球温暖化防止活動推進センターのこれまでの活動に加えて、県民運動として、より一層の地球温暖化防止活動を推進するため、市町村との連携体制の強化と研修等を通じたスキル向上を目指しました。

#### イ 活動実績

(ア) 部会開催5回、ワーキング開催6回

(イ) 地球温暖化防止の取組を普及啓発

- ・ 推進体制の整備

項目	県と連携して地域ブロック会議を開催 (県下3ブロック H21年4月13日、14日及び21日)
内容	市町村に推進員の活動内容の説明と人材の掘り起こし及び活動への協力を依頼
成果	推進員の増及び配置状況の改善 H21年4月(推進員39名、空白市町村数19) H21年9月(推進員58名、空白市町村数15)

- ・ 普及啓発行動

項目	省エネ電球取り換え活動の促進
内容	「大川村まるごと！省エネ電球取り換え大作戦」 (H21年10月10日～11日)
成果	大川村全230戸、省エネ電球取替え個数約1200個、年間約20t-co2を削減

(ウ) 企業の環境マネジメントシステム等の導入促進

- ・ 普及啓発行動

項目	1 県と連携して地域ブロック会議を開催 (県下3ブロック H21年4月13日、14日及び21日) 2 エコアクション21説明会の開催
内容	1 市町村への環境マネジメントシステム等説明 2 中小企業へのエコアクション21の説明 (H21年10月19日、H21年11月18日)
成果	1 参加市町村21 2 参加人数約70名、実務研修への参加5社

#### ウ 今後への課題

継続活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境家計簿の作成・普及</li> <li>・ 市町村との温暖化防止活動推進員の活動との連携促進及び推進員の全市町村配置又は増員</li> <li>・ 省エネ家電の普及推進等</li> <li>・ 市町村等への環境マネジメントシステム導入の啓発</li> <li>・ 中小企業のエコアクション21の導入推進</li> </ul>
新規活動	家庭版電気削減コンテストの取組周知

## (2) レジ袋削減運動推進部会


### ア 活動目標

レジ袋の大量消費は、地球温暖化や資源・エネルギー問題だけでなく、自然環境への影響も問題となっています。「改正容器包装リサイクル法」でもレジ袋の削減が盛り込まれました。事業者、行政、市民団体が連携し、マイバッグキャンペーンやレジ袋無料配布中止等の手段による、レジ袋の大幅な削減を目指しました。

### イ 活動実績

(ア) 部会開催4回、ワーキング開催4回

(イ) 普及啓発行動

項目	1 普及啓発ツールの開発 2 レジ袋削減キャンペーン
内容	1 県民会議のイメージキャラクターの作成 2 「男も持つぞ！マイバッグ！」キャンペーン (H22年2月16日～H22年3月21日)
成果	1 通称「ECOくろしおくん」  2 キャンペーン参加15事業所、参加人数436名、CO2削減量0.32t

### ウ 今後への課題

継続活動	マイバッグ持参の強化月間である10月に県民が参加できるマイバッグキャンペーンなどを実施
活動の展開	レジ袋の削減を呼びかける対象を、スーパーその他の店舗、商店街などへ広げていく。

### (3) グリーン購入推進部会

#### ア 活動目標

必要な物品等（製品やサービス）の購入に際し、環境に配慮されたものを選択することをグリーン購入と言います。グリーン購入は、単に物品の調達にとどまらず、旅館やホテルで提供されるサービスなども含まれます。この部会は、市町村、学校、企業等での物品購入、サービス提供等における環境配慮の普及を目指しました。

#### イ 活動実績

(ア) 部会開催4回、ワーキング開催5回

(イ) 普及啓発行動

項目	1 県と連携して地域ブロック会議を開催 (県下3ブロック H21年4月13日、14日及び21日) 2 環境配慮サービスの推進
内容	1 平成22年7月までにグリーン購入を実行計画、グリーン購入基本方針などに位置づけ組織として推進することを県内の全市町村に依頼(県の市町村への取組状況調査)10月 2 エコホテル勉強会の開催(H21年9月7日)、アンケート実施
成果	1 自治体の取組状況(H21年6月比、H21年11月時点) ・ 策定済み6⇒9(増3) ・ 予定なし23⇒19(減4) 2 エコホテル勉強会への参加27事業所、エコホテル取組啓発冊子を発行

#### ウ 今後への課題

継続活動	自治体のグリーン購入の導入の推進 グリーンサービスの継続的な啓発
新規活動	グリーンコンシューマーの育成

#### (4) 公共交通利用促進部会

##### ア 活動目標

CO<sub>2</sub>削減に向けた対策として、公共交通機関の利用等により、自家用自動車からCO<sub>2</sub>排出量の少ない交通体系への転換が求められています。この部会では、利用者、交通事業者、経済界、行政等に参画いただき、実効性のある取組の推進を目指しました。

##### イ 活動実績

(ア) 部会開催6回、ワーキング開催2回

(イ) 普及啓発ツールの検討

項目	公共交通利用促進につながる仕組みづくり
内容	交通エコポイントの社会還元方法の検討
成果	交通エコポイント社会還元事業 「こどもたちが主体の学校活動、課外活動、地域活動において電車・バス利用での移動時にですかカード（運賃相当額をチャージ済み）を貸与」する仕組みを創設

(ウ) 普及啓発行動

項目	通勤手段の変更による公共交通利用の促進
内容	「高知エコ通勤ウィーク」はじめての一步 (H21年11月15日～同月21日)
成果	参加11事業者、参加人数831人、CO <sub>2</sub> 削減量約5t

##### ウ 今後への課題

継続活動	エコ通勤キャンペーンの継続 マイカー利用の抑制と公共交通利用の促進に向けた啓発
------	--

## (5) 森林吸収対策部会

### ア 活動目標

高知県は、県土の84%を森林が占めています。これらの森林は、適正な森林整備を進めることでCO2吸収源とすることができます。そのため、県民の皆様には森林や林業への理解を深めていただき、森林ボランティア活動や県産材利用など一人一人が森林づくりに貢献できる取組を推進する仕組みや事業展開を目指します。

### イ 活動実績

(ア) 部会開催5回、ワーキング開催2回

(イ) 普及啓発行動

項目	森林吸収源対策の重要性について普及啓発
内容	1 間伐目標面積の設定 2 県民に向けた普及啓発の実施
成果	1 民有林の間伐目標面積が設定され、会員である森林組合連合会よりH21年11月10日に発表(目標13,700ha) 2 県民への広報の実施及びスキームの整備 (1) さんSUN高知掲載(10月号・特集) (2) 森林組合連合会機関誌「樹海」掲載(1月号) (3) 市町村広報誌への掲載依頼 (4) 県民会議ホームページの整備 (5) 啓発パネル作成(3枚組—5セット)

### ウ 今後への課題

継続活動	森林吸収源対策の目標達成 間伐の大切さについての普及啓発
新規活動	県民、事業者等の木づかい(県産材利用)の促進